＜第 4407 回＞
目的地：明神平(台高)：高見峠コース
担当者：松岡
実施日：2023 年 9 月 17 日(日)～18 日(月)
形　式：集中登山（テント泊）
費　用：¥5,340.-（鶴橋駅発着、交通費¥4,340.-　食費その他¥1,000.-）
参加者：4 名

天　気：晴れ
行　程：
[近鉄] 鶴橋(7:09) 急行 五十鈴川行き ⇒(8:00)榛原 [タクシー]榛原⇒(8:45)高見登山口
高見登山口(9:00)→(10:20)小峠→(10:50)高見峠(大峠)→(12:10)雲ヶ瀬山<昼食>(12:40)→(15:00)伊勢辻山→(16:50)国見山→(17:50)明神平

感　想：
　体力のことを考えて、榛原から高見峠まで、タクシーで行き、明神平まで、のんびり歩こうという作戦でしたが、高見峠の入口に到着すると、8 月の台風の影響で、なんと、通行止めとなっていました。ショック！タクシー8000 円かかったけど、予定より、30 分早く出発できてよかったと、みんなで気を取り直して、いざ、出発。高見登山口から小峠までの上りは、30 分毎に休憩をとりながら、ゆっくり登りました。木陰もあり、それほど暑くなかったです。高見峠に到着すると、なんと、やはり一般登山者は、車で来れていました。集合写真を撮り、トイレ休憩。雲ヶ瀬山までは、途中、小粒ながら栗が落ちており、少し秋を感じることができ、いいペースで到着し、ここで昼食。伊勢辻分岐までは、緩やかですが、アップダウンが連続し、とにかく長く感じました。伊勢辻山に到着した時、これは、伊勢辻コース組の方が先に行っているだろうなあと思い、念のため、Ｙさんに、到着が遅れそうなことをメールしました。ここからは、全員が無事に明神平に到着できることを第一に、無理のないペースで歩きました。赤ゾレ山は、体力温存のため、巻道を使用しました。ハート型の池は写真ポイントでした。国見山に到着時、なんとか行けそうだと、みんな安堵しました。ただ、道中は日陰でしたが、とても喉が渇き、非常水まで飲むことになりました。明神平の小屋が見えた時は、みんなで、思わず、感嘆の声をあげました。みなさんの頑張りのおかげで、無事に、日没前までに、明神平に着くことができました。本当に本当にありがとうございました！

各参加者の感想：
〈M〉
　一日目の高見峠コースを、松岡リーダーやＳさん、Ｋさんにサポートをしていただき、何とか完歩できました。二日目も、参加の皆さんに元気をもらいながら歩き、大又についた時には心底ホッとしました。
思いのほか暑く、長く厳しい道のりでしたが、思い出に残る楽しい 2 日間でした。本当にありがとうございました。

〈K〉
　集中登山の明神平は私にとって 16 年ぶり。今回の久々の共同テント泊に向けて、体力増強、装備の刷新、荷物の軽量化としっかり準備を進めて挑んだ山行でした。残暑も残る中、重い荷物を背負っての長い長いコースでしたが、しっかり歩き切ることができました。忘れていた共同テントの生活の感覚もよみがえり、
今後の泊まり山行につながる素晴らしい山行となりました。皆さんとこのような山行を共有できて、とても充実感でいっぱいです。

〈S〉
　今年の夏はとても暑くて、8 月から 9 月にかけては耐え難い暑さを感じながらも自分の体力を問うような山歩きを続けて来ました。毎回暑さ対策を更新して来たつもりでしたが、今回の集中登山・高見峠コースは圧巻でした。タクシー使用がプラマイゼロに戻り、心新たに高見登山口から歩き始めました。長かったです。暑さと思いのほか長いアップダウンにもめげずに 4 名の兵士は修行僧のように頑張りました。（柴﨑の感想）喉元過ぎれば熱さを忘れるではないですが、酷暑もオイルサーデン状態のテント泊、夜のごはんも悪くなかったと筋肉痛を快く思うくらいです。来期につながる事を願いつつありがとうございました。

〈M〉
　事前調査不足で高見峠までタクシー利用できず、ショックにかかわらず、嫌な顔もせず、登って頂き、ありがたかったです。明神平まで、アップダウンの繰り返しで、長い道のりでしたが、最後までモチベーションを保ち、頑張って頂き、参加者の皆さんに感謝です。日没前に、到着できて、ホッとしています。久々の

共同テント泊、食事は、キムチ鍋、トマト鍋とも美味しく、和気あいあいでとても楽しかったです。テントでの就寝も、寒くなく、暑いぐらいでした。共同テントだと、参加者の距離がグーッと近くなって、やっぱりいいなあと感じました。次回、高見峠コースで行く場合は、高見峠までタクシーを利用することをお勧めしたいと思います。

特　記：
　無し